

岩手県農業信用基金協会

1. 岩手県の紹介

岩手県は北東北に位置し、面積は15,275km²と北海道に次ぐ広さを誇り、四国4県とほぼ同じ面積となります。また当協会の事務所がある盛岡市は、今年1月NYタイムズ紙「2023年行くべき都市52カ所」で第二位に選ばれました。

選ばれた理由は、「街の中心部に歴史的な建物があり、川や公園など自然と共存していること、人がそれほど多くなく町並が美しい」とのこと。市内には老舗の蕎麦屋・焙煎珈琲のある喫茶店が数多く点在し、ジャズ喫茶など個性的な店も多く、歩いて回って楽しめる宝石スポットがある、と高評価をいただきました。



した。県民一同、驚きとともに街の魅力を再認識しているところです。

さらに、岩手県出身の野球選手が世界で大活躍中です。日々メディアを賑わせている大リーグエンジェルスの大谷翔平選手や左腕剛速球ブルージェイズの菊池雄星投手（当協会にそっくりさんがいるとの噂…）、WBCで大谷選手とともに活躍、日本プロ野球かつ世界記録13者連続奪三振の記録を持つ令和の怪物佐々木朗希投手など、多くの名選手を輩出しており、岩手を盛り上げてくれています。今後の活躍が楽しみです。

大谷選手の出身地である奥州市役所には岩手の特産品「南部鉄器」の大谷選手の手をかたどった握手像があり実際に握手することができます。市の職員は背番号17にちなみ毎月17日に赤いユニフォームを着用して仕事をしています。



2. 岩手県の農業

岩手県の農業の特色は、広い県土と変化に富んだ気象・立地条件を活かした米・園芸・畜産が盛んであることです。耕地面積は全国第5位の広さで、149,300haのうち約60%を水田が占め、「ひとめぼれ」をはじめ多品種が生産されています。近年、県オリジナル品種の「銀河のしずく」（白くつややか、かめばかむほど甘さが広がる）や「金色の風」（豊かな甘みとふわりとした食感、さめてもおいしい）が人気です。

飼養頭数全国第5位の畜産業では、上質できめ細



やかな霜降りで肉の柔らかさは最上級の「前沢牛」が有名ですが、全国的にも珍しい赤身が多く柔らかい「いわて短角牛」の他、「白金豚」、「佐助豚」、「南部どり」など養豚、ブロイラー部門においても全国上位の生産がされています。

生産量全国第3位のりんごは、江



刺りんごが有名です。国内でも先駆けて樹の高さを低く抑えて仕立てる「わい化栽培」を実施、日光をしっかりと浴びることができるため、色・味・果肉のしまりのあるおいしさが自慢です。昨年の初競りでは一箱（10kg、28玉）100万円の値がついています。

その他、生産量全国第1位のりんどうは、発色の良いハイグレードな花として世界に輸出、また、近年、八重咲きのオリジナル品種を開発、デビューしました。各地域で立地特性を活かした多彩な農業が展開されています。

3. 岩手県農業信用基金協会の概要

当協会は、理事9名（うち常勤1名）、監事2名の役員11名、職員14名で総務部、業務部の2部体制で日々業務に邁進しています。



今年5月に全国で先陣を切るかたちで保証審査システムを稼働させました。



4. 岩手県農業信用基金協会の活動

当協会は、農業者の資金需要に積極的に対応し、農業者の生産性の向上、農業経営の改善に資するよう努めています。保証審査にあたっては、融資機関との連携を強化しながら、適正に保証審査を行う外、融資担当者向けの研修会等を通じて、融資機関に対する保証保険制度の啓発も実施しており、保証の利用拡大に向けた取組みにも注力しています。

一方で、近年は生活資金での民間保証機関との競争が激化していることに伴い、利用率の低下を懸念しています。

こうした中、「保証審査システム」の導入を契機に、農業資金から生活関連資金まで

多種多様な資金ニーズに迅速かつ柔軟な対応が可能となりました。今後もこれまでよりも更に迅速な保証審査を目指すとともに、農業資金のみならず生活資金を含む数多くの資金需要に柔軟に応え、融資の伸長に寄与していきます。

また、融資機関との連携や貸出システムと保証審査システムの連携を高めながら、当協会としても保証引受ならびに保証残高の維持、向上を期待しています。

現在、ウクライナ情勢に伴う原材料費等の高騰が続いていることに伴い、農業者の負担増加が課題となっています。物価高騰の収束は見通せず、当面は農業者にとって厳しい情勢が継続することが予想されます。

厳しい農業情勢が続く中でも、当協会は県内農業を支える保証機関として、常に変化し続ける農業者の資金ニーズに対し的確に対応しながら信用補完機能の充実を図り、今後も地域から信頼される保証機関であり続けられるよう尽力してまいります。

